

令和6年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立徳之島高等学校

1 目的

農業に関連する講話や販売会等を経験することで農業への理解を深めつつ、島内の先進的な農家や農業法人への視察等を通して、これからの農業経営や最新技術に触れることで将来の農業従事者を目指してもらうことを目的としている。

2 実施状況

(1) 農業関連講演会

環境省職員の方を講師として招き、徳之島における活動（固有種の調査及び保全，外来種の調査及び駆除）について講話していただくことで、環境保全に対する意識を高めるとともに徳之島の魅力をより深く知ることができた。



農業関連講演会

(2) 農産物販売会

生徒の農場における実習風景をポスターに掲載することで、農産物の販売促進につながった。また、生産から販売まで携わることで生徒たちが達成感を味わうことができた。



農産物販売会

(3) 大島特別支援学校高等部徳之島支援教室との交流

大島特別支援学校高等部徳之島支援教室の生徒2名と農業体験（ピザ作り，トマトの収穫・調製，寄せ植え体験）を行った。

支援学級の生徒との触れ合いを通して、互いを尊重し、他を思いやる精神を育むとともに、農業の面白さを改めて認識できる良い機会となった。



特別支援学級との交流

(4) 島内企業及び農家視察研修

2年生12名を対象に、島内企業及び先進的な取組を行っている農家等への視察研修を実施した。自動操舵システムによるトラクタの操作や大規模な繁殖牛農家で取り入れている哺乳ロボットの説明を熱心に聞き、活発に質問している場面が見られた。



島内企業・農家視察研修

3 今後の課題、取組

今年度、農業大学校（肉用牛科）に3名進学した。来年度も、農業大学校への進学や就農希望者が数名いるので、在校生の就農への意識をより高めるための有効な取組を、本事業を通して引き続き実施していきたい。